

日常に生きる書写の力

―心を込めて年賀状を書く―（五年）

新しい指導を考える会

1 実践の趣旨

書写学習の大きな目標の一つは、書写能力の日常化であり、学習したことがどれだけ日常生活に生かされるかが重要である。その意味で実際の場面を想定した「はがき」「手紙」という学習活動も年間の指導計画の中に設定しておく必要がある。

2 実践にあたって

「はがき」を使用しての書字活動は、文章（多くの文字）を書く活動となる。そのため、以下の点において書写の授業で学習した既習事項を意識させなければならない。そして、これらが本時のねらいとなるのである。

- ① 行の中心（六単元教材文字「もみじ」での既習内容）
 - ② 文字の大きさ「漢字と仮名」（七単元教材文字「読む」）
 - ③ 字配り（八単元教材文字「希望」）
- また、児童にとって学習をより実際の場面に近づけるため、以下の点に留意した。

- ① 相手意識をもたせる。

- ② その場にふさわしい用具・用材を選択させる。
- ③ 効果的な学習時期を設定する。（年賀状・行事の礼状など）

3 指導の実際

今回は、「年賀状を書く」という場面を設定し、相手意識をもたせるため、誰に送るのかを考えさせ、国語の時間と関連をもたせて、文章をあらかじめ用意させておいた。この時、レイアウトの例を示して、用具についても選択させておいた。

- ① 「賀正」を小筆で書いて、文章をフェルトペンで書く。
- ② 「あけましておめでとう」を小筆で書いて、文章をボールペンで書く。
- ③ 「あけましておめでとう」から、すべて鉛筆で書く。

児童の意欲を高めるため、図画工作の授業と関連をもたせて、事前にマーブリングや墨流しではがきに模様をつけさせたり、梅の花など好きな絵を小さく描かせたりして工夫するとよい。準備できないときは、色のついたはがきや色画用紙を用意しておくとうい。

4 指導計画（次ページ参照）

5 成果と課題

通常の書写の学習では、同一課題を一斉に書く場面が多いため、それぞれが選択した用具を使用して、自分の文章を書く活動は児童にとって新鮮であり、有意義であった。

書写で学習した内容が、日常生活において活用できることを実感することができるよう機会となった。

4 指導計画（全3時間）

- ① 単元名 お世話になった人や大好きな人に「年賀状」を書こう（11月）

② 単元の目標

- ・お世話になった人や大好きな人に気持ちを伝える。
- ・「行の中心」や「文字の大きさ」「字配り」について理解する。
- ・「行の中心」や「文字の大きさ」「字配り」を確かめて書く。

③ 学習の展開

	学習内容と児童の活動	教師の支援
課題をもつ	1. はがき大の紙に試書する。 2. ねらいを確かめる。 ①「行の中心」について考える。 ②「文字の大きさ」について考える。 ③「字配り」について考える。	・国語の学習と関連をもたせて、事前に文章を準備させておく。 ・3種類のレイアウト例を示し、事前に用具についても選択させておく。 ・「行の中心」について正しい例と誤例を比較して考えさせる。 ・「文字の大きさ」について、漢字が大きく平仮名が小さくなっている例（正）と漢字を小さく平仮名を大きく書いた例（誤）を比較して考えさせる。 ・「字配り」について、字間が詰まりすぎた例（誤）や行間の詰まりすぎた例（誤）を見て考えさせる。
追究する	3. 試書について自己批評する。 ①「行の中心」について自己批評する。 ②「文字の大きさ」について自己批評する。 ③「字配り」について自己批評する。 4. 評価カードに記入して、自己目標を設定する。 5. ねらいに気をつけて練習する。 6. 相互批評をする。 7. 意見交流する。	・試書にものさしで中心線を引き、行の中心を確かめさせる。 ・試書の漢字を○で囲んで、平仮名よりも大きく書いているかどうかを確かめさせる。 ・試書の字間や行間について詰まりすぎているかどうかを確かめさせる。 ・評価カードを準備して、自己の課題を確認できるようにする。 ・レイアウト例に沿った練習用紙（野線や枠などの補助線が入ったもの）を使用して練習させる。 ・隣同士で書いたものを交換し、ねらいが達成できているか確かめ合わせる。 ・相互批評の中で出た意見を交流し合い、全体で確認した方がよいこと、留意事項などをまとめさせる。
まとめる	8. はがきにまとめ書きをする。 9. 役割演技をして評価する。 10. 評価カードに記入する。	・事前に図画工作の授業と関連をもたせ、マーブリングで模様をつけるなどしたはがきに書くことで意欲を高めさせる。 ・隣同士で年賀状を受け取る人と送った人になって、もらったときの気持ちを交流し、うまく書けている所を評価し合わせることで達成感を感じさせる。 ・友だちからもらった評価をもとに自己評価させる。